

このページは、小・中学生に向けて
梅光学院大学子ども学部子ども
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が
作っています。

※イラスト 武下侑介さん、西田智則さん

しものせき キッズページ



「下関が誇る野菜と花」



▲高品質でおいしいネギ(左)とイチゴ(右上)とトマト(右下)。
どれも新鮮です！

皆さんは、下関市の主な野菜と花を知っていますか。下関市では、地域に適した特徴ある農作物の生産を進めてきました。今回は下関市の代表的な野菜と花を紹介します。

栄養たっぷり 下関の野菜

下関の主な野菜は、イチゴやトマト、ネギ、アスパラガスなどです。野菜を育てるための施設が発達したことで、より高品質で安全な野菜が生産されています。特にネギは安岡地区を中心に生産され、代表的な特産野菜となっています。イチゴは県内一の生産量を誇り、



甘くておいしい
下関の果物

下関で生産されている主な果物には、ナシ、ミカン類のかんきつ類などがあります。下関のナシは、平成21年の山口県内で生産されたナシの44・5%を占めており、県内一を誇っています。豊田地域は赤ナシ(豊水など)・青ナシ(二十世紀)を、豊北地域は豊水・幸水などの赤ナシを生産して県内外の人たちに喜ばれています。

県内2位は、かんきつ類の長門ユズキチ、南津海、せとみで、3



市内全域で盛んに生産されています。イチゴを栽培する土を地面から高い所に設置する「高設栽培施設」を増やし作業姿勢を改善していることに加え、雨よけ育苗施設などでも、より多くのイチゴを生産できるように目指しています。

同じく県内一の生産量を誇るアスパラガスは、王喜地区と内日の一部で生産されてきました。近年は豊田、豊浦、菊川の一部でも生産が開始され、共同販売量も平成17年の278トンから平成22年の384トンへと飛躍的に増加しました。このように、下関市では高品質でおいしい野菜がたくさん生産されています。

心を愛して
花を育てよう

下関市では、温暖な気候を利用した花の栽培が行われています。山口県生まれの小さなユリ(プチシリーズ)が、安岡地区で栽培されています。プチソレイユ、プチシューネ、プチエトワール、プチラン、プチルナ、プチロゼの8品種がそろっています。オレンジ、白、黄色、ピンクを基調としており、ユリ独特の匂いがない、かわいいユリです。

J A 下関安岡支所では「花育」の一貫として幼稚園児や小学生などを招き、花摘み・フラワーアレンジメント教室を開催しています。

下関では、平成21年でユリやバラ、菊、ガーベラ、カーネーション、トルコギキョウなど、県内一位の生産量を誇っています。

花に囲まれた下関。私たちも花を愛する、こころ豊かな生活を、送ってみませんか。



4月号の編集記者
西田智則さん



▲J A 下関安岡支所の花摘み・フラワーアレンジメント教室に参加した梅光学院幼稚園の園児たち。



▲小輪タイプのユリ「プチロゼ」。山口県のオリジナル品種です。